

## 2 学期終業式校長講話要旨

### ○今年の漢字

12月12日（木）に公益財団法人日本漢字能力検定協会が、今年1年を象徴する漢字を発表しました。今年の漢字は「金」でした。1995年から行っているとのことで、すでに30年継続している年末の恒例行事になりました。

この漢字の選定理由は、パリでのオリンピック・パラリンピックの日本人選手や、大谷翔平選手などの活躍による“光”の『金』だけでなく、政治の裏金問題、闇バイトによる強盗事件、止まらない物価高騰など“影”の『金（かね）』などからだそうです。2000年、2012年、2016年、2021年と、結果的に夏季のオリンピック・パラリンピックの開催年は「金」が選ばれています。30年間で5回は多いかなと思うのですが、皆さんは今年の自分自身の漢字は何だったのか、考えてみてください。

### ○いくつかの国や、わが国の政党の指導者の交代

今年には日本に関係の深い国や、わが国の政党の指導者が交代しました。アメリカ合衆国では11月の選挙で共和党のトランプ前大統領が当選し、来年から大統領に返り咲きます。イギリスでは7月の総選挙で保守党から14年ぶりに労働党が政権をとり、スターマー首相が生まれました。また、韓国やフランス、ドイツの政治情勢も流動化しています。加えて、シリアではアサド政権が崩壊し、西アジア・東地中海地域、いわゆる「中東地域」でもイスラエル情勢と合わせて国際情勢は混沌としてきました。

わが国では自由民主党、立憲民主党、公明党、日本維新の会などの指導者が交代し、首相は岸田首相から石破首相に代わりました。今年の後半からの交代ですので、実際のところは来年になり、アメリカのトランプ大統領の動向と合わせて、国内外の政治が動いていくことでしょう。

### ○日本被団協、ノーベル平和賞受賞

この夏、私は本校の学校見学会で、小学生、中学生に対して、「映画ゴジラを通してみる日本の戦後社会」として、体験授業を数回行いました。

なぜ、ゴジラを取り上げたのかというと、今年はゴジラ誕生70周年だったからです。映画のゴジラが誕生したいきさつは、70年前の3月1日にアメリカが南太平洋マーシャル諸島ビキニ環礁で水爆実験を行ったことから始まります。その水爆実験の影響で放射能を大量に含んだ怪獣ゴジラが形作られます。そして、昭和29（1954）年11月3日に映画「ゴジラ」が公開されました。このため、衛星放送やケーブルテレビでは11月にゴジラ映画が多く放送されました。

「ゴジラ」とは日本が作ったキャラクターで、多くの国々で知られる怪獣になりましたが、これは核兵器を寓意・象徴したものと捉えられます。ゴジラにしても原爆・水爆の核兵器もいきなりやって来て町を破壊し、多くの人々を犠牲にしました。私はゴジラの授業ではゴジラを「得体の知れない理不尽な存在」と定義しました。核兵器も同様です。

核兵器のない世界を作っていかなければならないと思うのですが、むしろ紛争の解決の手段のために核兵器を使うことを国際交渉の場に持ち出そうとしている国があるようです。この危機感からでしょう。今年のノーベル平和賞に日本の原水爆被害者の団体である「日本原水爆被害者団体協議会（略称 日本被団協または被団協。）」が選ばれました。この被団協もゴジラと同様に、1954年のアメリカによる

ビキニ環礁での水爆実験をきっかけに広がった原水爆禁止運動の中で、1956年に被爆者の全国組織として長崎で結成されました。各都道府県でも被団協が結成され、核兵器の廃絶や被爆者の救済を訴える活動を続けてきました。

ノーベル賞の創設者は遺言で、平和賞は「国家間の友好関係、軍備の削減・廃止、及び平和会議の開催・推進のために最大・最善の貢献をした人物・団体」に授与することとしているので、今回は日本の被団協が選ばれました。ノルウェー・ノーベル委員会による授賞理由について、

「ヒバクシャ」として知られる広島と長崎の原子力爆弾の生存者たちによる草の根運動は、核兵器のない世界の実現に尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを証言を通じて示してきたことに対して」として、続きは長いので一部を紹介します。

「…ノルウェー・ノーベル委員会は、一つの心強い事実を確認したい。それは、80年近くの間、戦争で核兵器は使用されてこなかったということである。日本被団協やその他の被爆者の代表者らによる並外れた努力は、核のタブーの確立に大きく貢献した。だからこそ、この核兵器使用のタブーがいま、圧力の下にあることを憂慮する。

核保有国は核兵器の近代化と改良を進め、新たな国々が核兵器の保有を準備しているように見える。現在起きている紛争では、核兵器使用が脅しに使われている。人類史上、今こそ核兵器とは何かに思いをいたすことに価値がある。それは、世界がこれまでに見た中で最も破壊的な兵器だということである。

来年は、米国製の原爆2発が、広島と長崎に住む推定12万人を殺害してから80年を迎える。その後の歳月に、これに匹敵する数の人々がやけどや放射線障害により命を落とした。今日の核兵器は、はるかに強力な破壊力を持つ。何百万人もの人々を殺し、気候に壊滅的な影響を及ぼし得る。核戦争は、我々の文明を破壊するかもしれない。

「…アルフレッド・ノーベルのビジョンの核心は、献身的な個人が変化をもたらすことができるという信念である。ノーベル平和賞を日本被団協に贈るにあたってノルウェー・ノーベル委員会は、生存者たちが、肉体的苦痛や辛い記憶にもかかわらず、大きな犠牲を払った経験を生かして平和への希望と関与を育むことを選んだことをたたえたい。…」

そして、今月10日にノルウェーのオスロで授賞式が行われ、テレビのニュースなどでも大きく紹介されました。核兵器のない平和な世の中をこれからも作っていかねばならないし、それはひとり一人の努力にかかっているというメッセージを重く受け止めなければなりません。ゴジラ・核兵器が暴れるのは映画館のスクリーンの中だけで終わらせたいものです。

#### ○冬休みを迎えるにあたって

とくに、高校3年生にとっては既に附属推薦などで進路が決まってほっとしている人も多いことでしょうが、これからの人も沢山います。自分の進路を決める正念場になります。

年末・年始、お正月といっても気を緩めることはできません。

「冬来たりなば、春遠からじ」 厳しい冬を乗り越えて、希望に満ちた春を迎えられるように頑張ってください。

冬休みは、くれぐれも身体に気をつけてください。交通事故などにあわないように注意してください。冬休み明け1月8日には、元気な顔で登校してくることを願っています。